

# ハンドボール

# No.41

Japan  
Handball  
Association



社会人  
 学生  
 専専  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 少年男子

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会

男子  
 女子

試合  
番号 **C-15**

年月日 2023 年 10 月 10 日 (火)  
 大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動がしま国体 ハンドボール競技

## 公 式 記 録 用 紙

A 茨城県										B 福井県									
鹿児島県		霧島市				霧島市横川体育館				準々決勝									
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シヤツ	A	B					
21		19	31	36															
7m得点/総数		A 2/3			チームタイムアウト 1 2 3 29 24			チームタイムアウト 1 2 後 3 18 49 22 50			B 3/3		7m得点/総数						
No.	茨城県		G	W	2'	2'	D	DR	No.	福井県		G	W	2'	2'	D	DR		
1	齋藤 慧遵		1						1	小幡 駿陽									
2	飛澤 翔								2	吉田 健伸									
3	藤井 悠輔		1		1				3	和泉 柊成		2							
4	篠内 崇人								4	山田 晃綺		4							
5	大橋 真人		11						5	河原 龍成		1		1					
6	牛丸 三士朗		4						6	青柳 修									
7	生鷹 頼太								7	武田 心稀		10							
8	小久保 穰		4						8	関口 比呂		6							
9	大友 克海		2						9	永森 悠透		11		1					
10	太田 晴斗		1						10	上崎 煌也									
11	熊谷 継		7						11	間瀬 暖大		2		1	1				
12	上西 光生								12	近藤 晶太									
監督A	小倉 慶輔								監督A	福村 正巳									
役員B	滝川 一徳								役員B	南保 智史									
役員C	会田 亮祐								役員C	大野 翼									
役員D	篠内 克行								役員D	大谷 尚史									
A	チーム役員A署名				福村 正巳				B										

特記事項

レフェー	重見 一平	小澤 優樹	重見一平、小澤優樹
TD	鶴田 祐一郎	小田 大貴	鶴田祐一郎、小田大貴
MO	鶴田 祐一郎		鶴田祐一郎

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール

# No.43

## 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(火)	試合番号	C-⑩	回戦	準々決勝
種別	少年男子	会場	霧島市横川体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
茨城県			福井県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
31	21	前半	19	36	
	10	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

茨城県のスローオフで始まった少年男子準々決勝。茨城県⑩熊谷がロングシュートで先制点を挙げ、幕を開けるが、すぐさま福井県の武田がミドルシュート、⑩間瀬のポストシュートで、1対2とする。直後、福井⑥河原がディフェンスファールによる2分間退場となり、7mTを得た茨城県は③小久保が冷静に得点する。その後両チームに2分間退場者が出るものの一進一退の攻防が続く。前半18分に茨城県⑤大橋、⑧小久保の連続得点で14対11となったところで、流れを切りたい福井県がタイムアウトを申請。タイムアウト後も堅い守りで試合をリードする茨城県に対し、福井県⑧関口のサイドシュートや⑨永森のロングシュートで得点をするが、なかなか点差が縮まらない。前半27分に福井県⑨永森が2分間退場となり数的優位になった茨城県に対し、福井県⑦武田のカットインシュートなどで応戦。お互いが譲らない展開となり、前半は茨城県が21対19と2点差のリードをもって試合を折り返す。

後半早々に福井県⑦武田が得点するが、すぐに茨城県⑤が取り返す。後半4分に福井県が⑦武田⑧関口の連続得点で22対22とし、そこから両チームが交互に点数を上げていく。後半15分、福井県①小幡がファインセーブを見せると⑧関口がサイドシュートを決め、27対28とする。茨城県も⑩牛丸、③藤井が得点するも、福井県①小幡のファインセーブは続き、後半18分から福井県が5連続得点と徐々に点差を離す。後半に守りを固め攻守に上回った福井県が、31対36の5点差をつけて勝利した。

	記載者氏名	山下 直生
	送信日時	10月10日(火) 16:40